発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)



SOURCE COLUMN (EXMEDIAL)	一种总结性	
出願人代理人 笹島 富二雄		
様 あて名 〒 1050001 東京都港区虎ノ門1丁目19番5号 虎ノ門1丁目森ビル	PCT 国際調査機関の見解 審 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]	
	^{発送日} (日. 月. 年) 28.12.2004	
出願人又は代理人 の賽類記号 A5046·0	今後の手続きについては、下記2を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/013607 国際出願日 (日.月.年) 17. (優先日 (日.月.年) 28.10.2003	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' F01N 3/08		
出願人 (氏名又は名称) 日産ディーゼル工業株式会社		
1. この見解書は次の内容を含む。	B性についての見解の不作成 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、	
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調	を機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ 解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。	
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了するな場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。	なされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か 朝限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当	
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照する	·	
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照	限すること。	

見解書を作成した日 10.12.2004			
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 亀田 貴志	3 T	9719
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 0·3-3581-1101 p	9線 3	355

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第1欄 見解の基礎			
1.この見解書は、	下記に示す場合を除くほか、国際出願の官語を基礎として作成された。		
この見解書は それは国際調	、 語による翻訳文を基礎として作成した。 査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の冒語である。		
2. この国際出願で 以下に基づき見角	目示されかつ 請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 軽音を作成した。		
a. タイプ	配列表		
	■ 配列表に関連するテーブル		
b. フォーマット	音面		
	コンピュータ読み取り可能な形式		
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる		
•	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された		
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された		
3. ○ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。			
4. 補足意見:			
	· ·		

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/013607

1. 見解		·
新規性 (N)	請求の範囲 <u>1-1-7</u> 請求の範囲	
進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1-17</u> 請求の範囲	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 <u>1-17</u> 請求の範囲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

2. 文献及び説明

請求の範囲1-16について

国際調査報告で引用したいずれの文献にも、タンク内で還元剤が静止している時のみ還元剤の濃度を検出することが記載されておらず、また自明なものでもない。

請求の範囲17について

国際調査報告で引用したいずれの文献にも、タンク内の還元剤揺動時前の静止時 に得られた検出濃度をもとに制御対象を作動させることが記載されておらず、また 自明なものでもない。

様式PCT/ISA/237 (第V欄) (2004年1月)